

第 14 回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・P T A・コミスク部会（会議録）

会議の名称 第 14 回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・P T A・コミスク部会
開催日時 令和 6 年 9 月 25 日（水） 午後 7 時 00 分から
開催場所 上矢作コミュニティセンター 講堂
議題 課題 N o . 14 「P T A の組織運営に関すること」
公開非公開の別 公開
出席者 委員

若森 慶隆
安藤 常雄
後藤 加代子
後藤 純一
阿部 秀樹
川上 容子
中村 光代
永田 満依子(ZOOM 参加)
園原 正明
安藤 真由美(ZOOM 参加)
片桐 慎一
細江 幸次
後藤 理恵
伊藤 亜弓
梅村 政則
塚田 茜
佐藤 美保

教育委員会
丸山 頼彦
市川 太一
小栗 研
横田 洋平
長谷川 棕
小野 千恵実

会議の内容 会議録のとおり
傍聴者の数 0 名

事務局 それでは時間となりました。

今日、出席の方は、今のところ過半数は超えておられますし、まだ、今、車が入ってきていましたので、またこれから集まってこられると思いますが、時間になりましたので、始めさせていただきたいと思います。

では、まず部会長様からご挨拶よろしく願いいたします。

- 部会長 こんばんは。夜遅くにご苦労さまです。
 ここ一兩日、非常に天候が変わりまして、私は昨日ぐらいから長袖にしました。
 これがないと私のところでは、寒いぐらいです。
 この部会も、前は事前送っていただいている資料が何ページもあつて議論を
 していただいたところですけど、今回の分は今までと違った感じのまとめ方で、
 ちょっとこんな風になっていますが、いわゆる新しい中学校になったときのP
 T Aの役員体制をどうしていくかということで、今日は議論をいただきたいと
 思います。どうぞよろしく願いいたします。
- 事務局 ありがとうございます。それでは、今日は事前にお配りした資料に目を通して
 いただいたかなと思っております。グループごとに、最初にもう事務局の人
 も入りまして、グループごとで議論を最終的に確認し合うという形で進めてい
 きたいと思いますので、よろしく願いいたします。
- 部会長 では、事前についておりますこの資料に基づいて、早速、協議のほうに入りたい
 と思います。

(グループ協議)

- 部会長 では、よろしいですか。こども園さんのほうから。お願いします。
- 委 員 保育園のほうは、B案だと、役員の決め方、体制について、やっぱり来年度の
 役員さんの負担が大きいということで、A案のほうを支持する形で。その中の
 役員の決め方としては、この書いてある、令和7年度の各中学校のP T A役員
 から1人というのと、令和8年のP T Aの暫定候補1人ずつというのにプラス
 して、プラスというか、どこでもいいですけど、候補を次の6年生から中2ま
 での保護者にやりたい人を募る、その暫定の人。最低で、各地域で2人ずつは
 出してもらいつつ、やりたい人がいればプラスで入ってもらうというふうにし
 たほうが、どういう進捗状況とかというのも分かりやすいんじゃないかなとい
 うので、立候補を募るというのも一つの、全員じゃないですよ。役員は役員
 に1つという、5人の候補者を立候補で募る。やっぱり、例えばなんですけど、
 中3が末の子供の役員さんとかだと、その次の年まで関わってこなくちゃいけ
 ないんで、次の中3の保護者さんはできるだけ遠慮してもらうという形でもい
 いんじゃないかなというのと、委員に関わってくるのは、中学校の先生、教頭
 先生とかだと思うので、できる限り中学校の先生にも、この役員先生チームに
 入ってもらうというのがいいのかなというふうに話として持っています。以上
 です。
- 部会長 今の話だと、いわゆる、令和8年度P T Aの暫定候補は、その時に3年生以外
 からということ。
- 委 員 でないと、3年生が末の子の人ってすごく、卒業しちゃうのにまたかかわるこ
 とになっちゃうはずなんで、できれば3年生が最後という人とか、3年生がし
 ばらく空いちゃう人とかは、ちょっと遠慮してもらったほうがスムーズなんじ

やないかなと。

部会長 ちょっとそこは、多分、後から議論に。

委 員 もう、全然、強制ではないので。

部会長 なるほど、ちょっと確認でした。すみません。

委 員 じゃあ、小学校のほうお願いします。

委 員 役員体制についてはA案です。その、検討チームの発足を、通常の動き方だと、令和8年度の暫定候補者には時間がないので、令和7年度の4月ぐらいからやると言わないといけないんじゃないかというふうに考えています。あと、令和8年度の候補者は、必ずしも新中学校の本部役員でなくてもいいと思います。以上です。

委 員 では、中学校グループさんお願いします。

委 員 はい、こちらのPTA中学校のグループも、案としてはA案を支持します。その場合として、やっぱり令和7年度の役員の中から決めるというのは、岩邑、山岡、上矢作とも、中3がやるんですね。来年の役を。それらが出て、8年度もって言うともう高校生になっている。だから、それはもう基本、無理かなというところで、明智は中2が本部役員になるので、中3まで残るのもいいんですけど、その決め方だと、B案はちょっと厳しいということで、A案なんですけど、A案の中で、PTAの役員は1人ずつ。だから、その役員としては中3から出ても、PTA、各中学校に戻ってその話を共有できるというのと、令和8年度の候補者1人ずつというのも、候補者を、という括りではなくて、PTAの役員というか、ちょっとPTAの中で携われる感じだったり相談役だったり、これではその流れも含めて、新しくPTAになったときに、もうその次が持ってきてやすくなるかなというので、今の現在の中1以降ですね。小6までいくかどうかというところなんですけど、それが一番いいかなというので、大体話がまとまったんですけど。以上です。

部会長 はい、ありがとうございます。

委 員 今ちょっと、ちょっといいですか。

委 員 はい。

委 員 この、やつは、小学校より中学校主体でチームというのはどうですかね。今の現中学生の。

委 員 学校にも、PTAにも伝えるとして、小学校校の本部にも、中学校も持って帰って話をしてくるってなると、どんどん横に広がって行って、決めていくのに時間がかかるじゃないですか。なので、各中学校に持ち帰ってもらって、中学校で、今の小学校、例えば6年生、5年生からも選ぶよっていうふうになれば、中学校のPTAから、小学校にも話を降ろしていくという形を取っていけば、スムーズにいくんじゃないかなと思っているんですけど。

事務局 この話をメインにするのは、今の中学校の保護者、PTAの方々で。中学校の役員を決めていくということになるんですね。今回の統合があってもなくても、中学校のPTAの役員を決めときは、中学校の保護者で決めてるってということもありますよね。これをまた、小もこども園もとなってくると、また、直接か

かわらないのに分からないということにもなっちゃいますよね。そういうことで、よかったですか。

委 員 　　そうそう、そうです。

事務局 　　方向としては、こういうふうになっていくということは、もちろん、今の小6、小5が最終的には中1、中2になってくるんで、かかわってはくるので、知ってもらいたいんだけど。

委 員 　　あくまでも、誰が言い出しっぺになるみたいなところだよな。さっきこの場であったように、ここから直に検討をそれぞれ諮るということ、ちょっと一旦置いておいて、明智方式みたいに2年生の人になるようなところで、小学校へ波及するので、その情報は当然、欲しいっちゃうか、渡した方がええんでしょ。けど、直にここから渡すんじゃなくて、中学校での議論を踏まえて、段階を踏んでもらうような感じ。

委 員 　　小学校では本年度分の小学校とかの経過報告っちゃうふうにはさせてもらえけれども、あくまでも主軸を置いていただくのは中学校の皆さんで協議してもらおうと。

委 員 　　今、中学校側から話があったのですが、こども園さんのほうの受け止め方はいいですか、今の。

委 員 　　今の話だと、今の中1の小6の親でPTAを決めていくので、来年度、8年度の時に1年生になる親は関係ないというわけですね。

委 員 　　5年生の親ですか。

委 員 　　5年生の親は、ただ情報だけ聞くだけで、役員にはならないというような形で。

委 員 　　1年生ではないかもしれないですね。

委 員 　　1年生までPTAの組織の役員に入ってくるということですか。

委 員 　　そうそう。もうならないっていう。

委 員 　　学年委員はあるかもしれないですよ。

委 員 　　学年委員はあるかもしれない。

委 員 　　そうそう、役員としては、取りあえず初めて中1で親になるような親は、PTAの役員はもう絶対ならなくていい。

委 員 　　絶対ということではない。

委 員 　　学年委員。

委 員 　　あと、学年委員とかはあるけど、役員としては、そういう会計とかは……。

委 員 　　もしかしたら、なっちゃうかもしれないですけど、この地区の子どもの関係ではなっちゃうかもしれない。でも……。

委 員 　　中1の親は、もう決められたことをそのままやればいいのかな。

委 員 　　5年生。

委 員 　　うん、5年生。

委 員 　　5年生が、例えば中学1年生になって入学しますと、もうそこで役員は決まっているので。

委 員 　　決まっているという状況なわけですね。

委 員 　　順番に2年生になったときに、2年生から3年生になる時に、その新しくなっ

た中学校の規約を今から作っていくので、そのとおりにやっていけばいい。

委 員 まだ、中3が会長になるのか、中2が会長になるのかすらも決まっていない段階だから。

委 員 それも含めて、いろんな親から話を吸い上げるっていう意味でも、この暫定チームに5年生の親が入るっていうのはできない？ どちらかな。

委 員 地区によってはあるんだよ。絶対に入れた方がいい？

委 員 決めていくときに、何か、私、小5のときに、私、小5なんです、一番上が。だから、決まったときに、あっ、そうなんだなっていう人もいれば、それがうれしいっていう人もいるだろうし、ラッキーって思う人もいるだろうし、逆にちょっと気になるなって人がおるかもしれないから、立候補したらどうだろうと思っただけで。だから、決められちゃっているな、になったほうがいいんか、もちろんそのほうがスムーズだとは思いますが、何か初めての中1で、初めての段階でもう決まっていますよりは、ある程度流れが見えると安心っていう人もいるのかなと思っただけで。

委 員 今は、どこの中学校も、たぶん中1で役員っていうのはないと思うんです。

委 員 そう、ないですね。

委 員 串原とか、少ないとそういうのはあるかもしれないですけど、ある程度人数がおれば、基本2年生3年生になってきているのかなっていうところもあると思うので、それでもいいかなと思うんですけど。

委 員 もちろん。

委 員 PTAの役員には1年生の親はならなくていいけど、暫定のこの選定チームには入ることは可能ですか。

委 員 そうそう、PTAの役員に中1がやるわけじゃなくて、暫定チームに入れるのかなと思って。そうそう、役員は全然、中2と中3でいいんですけど、この決める暫定チームには入れるのかなと思って。情報がやっぱり欲しい親もいるかなと思って。ごめんなさい、そういう意味で役員にということではなくて。ごめんなさい。

委 員 暫定チームの話。

委 員 こども園としていうと、そういう……。

委 員 ややこしくなっていてごめんなさい。すみませんでした。

委 員 そういうこと、暫定なんですね。

委 員 そう暫定でも、入って話合いに参加したりとか、いろんな意見聞くっていう意味でも、5年生の親だけなんか疎外感という感じがあるかなと思って。ならないならならなくて全然。

委 員 でも、そのチームって、新しく中学校になったときに、携わっていったほうがいい人たちじゃない。

委 員 もちろんもちろん。

委 員 そういうことね。だから、中1でも、それに本部役として入れるのかということですよ。

委 員 うんうん。

委員 本部役の会議に、もう参加したほうがいいかなと思うんです。流れも含めて。7年度の人たちは。

委員 なる人が暫定？

委員 なるというか、そこにも入っていった話を持って……。

委員 なり得る可能性が高い人になった方がいい。

委員 というか、会長、副会長さんですと。

委員 ああ、そうですね。

委員 あくまでも相談役だったりとか、そういう役で入っていったほうがいいかなと思うけど、それを決めるのがこの暫定チームでもあるので。7年度の役員は、いなくなるんですよ。7年度の役は中3がやるから。だから、8年度の人たちが結構メインで、そこに入っていかなかったらというところ。そうすると、8年度の中3、中2が一番メインがいいかなというところ。

委員 結局、そこで、ちゃんと中学生の保護者で、おる人たちでやってもらわないと。

委員 そうそう。

委員 いけないよね。でないと話が続いていかないよねっていうことですよ。

委員 じゃあ、もう、この暫定チームはかなりの勢いで、8年度のPTA役員になる人になるべきだっていう考えで、もういい？

委員 というのが、どちらかというと、こども園さん、他のところはそんなようなことに取れたんです。だから、ちょっとその辺が。

委員 要は、案としては、A案で皆さん一緒なんですけど、そこに微妙な温度差があるので、その辺を付帯条項みたいなものを付ける、謳うのかどうかということになるかと思うんですけど、その辺がどうかという。話を聞いていて、思ったんで。

委員 それはそれでありにして、やりたい人他にいればどうでしょうぐらいな感じはありなんです。会議に参加したいよ、みたいな人がいたら、いいんじゃないですか。

委員 そういうと、委員にはその後、令和8年のPTAの役までやってもらおうと考えたと、役員選出のだけのことをやってもらって、後でできないって言われても困るわけですよ。

委員 そうそう。

委員 そこに入って、決めに來て、話聞いて、じゃあ、いざ、ここのメンバーが、じゃあ、もう僕が会長になりますとか、じゃあ、次、副会長になります、なっっていったときに、私は聞きに來ただけだから、次の人たち呼んでくるねってなっちゃうと、その呼んできた人が多分困るんじゃないかなと思う。

委員 ああ。

委員 ある程度、この会議もそうなのかなと思うんですけど、ある程度、会議に参加する以上は、責任は持ってもらわないと、やっぱり聞きに來たけど、やっぱりいいとかで終わってっちゃうと、残されてくる人が大変じゃないかなと思うんです。結構、最初を決めるのが一番ちょっと内容的に、難しいんじゃないかなと思うんです。ここだけでも、意見がまとまってないと、ちょっと進んでいく

ことができんかなと。

委 員 ちよっとここから、極論を言えば、暫定候補の人が、限りなくもうそこで役に近いつていうほうが、後々混乱しないよね。だから、各地域でするときに、ある程度、暫定候補になる人は、腹積もりをできる人のほうがいいなと、これ私の個人的な意見です。

委 員 そうふうに、最初から、そういうふうだとしたら、そのふうに本当に話していかないと、これだと、望ましいんだから、望ましいんだなぐらいになっちゃうから、もう、そうしてくださいぐらいの勢いじゃないと。分かりますよ。混乱するとか、そういった。

委 員 ちよっとその辺が、そうかなと思ったんだけど。

委 員 お願いしますぐらいの感じで。

事務局 今の話をすれば、その意識を持って、例えば今、中学校のほうで主体的になって、手を考えていくよということで任せていただければ、そういう意識を持って、人選をしてくるということであれば、今の言った話は通じてくるので、いいかなと、ちよっと今思いました。

委 員 上矢作さんの場合だと、1年生がもう決まっているみたいなので、きっと今の6年生の方を、今の1年の方が主体で出てくるんじゃないかなと思う。

委 員 ほとんどベースで言うと、変な話、来年度の役員って、今の中2と中1の役員じゃないですか。そう思うと、もうほとんどの負担が、今の中1の親にくることになりますよね。

委 員 基本的にそうなるんじゃないですか。

委 員 順番から言えば、そうなるね。

委 員 それはすごい負担にならんかなっていうとこ、不安はあったんですよ。

委 員 それは避けられない。

委 員 ただでさえいろいろと、ずっと混乱の最中に、全ての負担が中1の親についていうのも、大変だな、という同情になっちゃうけど。

委 員 その次の役員になると思うので、来年の話合いは、できれば、こうなってくると、この中1は入ってくるのが特に少ないとですから、上矢作さん、大変。

委 員 1から4に対してなんですけども、この5のA案、B案が決まって、A案、例えば今、皆さんA案を推しているの、A案でいきましょうって決まったら、この中の人たちで、この1から4を考える。

委 員 ここで進めていくという考え方で、皆さんそれはよろしいですか。

委 員 そう。ここは、後でいいんじゃないですか。

委 員 1から4は、もうとりあえず置いといて。

委 員 そうそう。

委 員 5だけ、A案に対して、どのようにしていくかっていうことを話し合っていることです。

事務局 そうすると今、大体お話を聞きますと、まずA案でいきましょうと。これ、A案でいきますと、7年度のPTA役員からで1名ずつ5人出してくださいね。それプラス、令和8年度にPTA役員に暫定候補というのも選ぶんですけれど

も、それは各学校によって選んでもらうんですが、あくまでもさっき言ったように、この時だけ参加して後は皆さんよろしくねじゃなくて、あくまでも心積もり、で、決定でとは言わないけれども、心積もりで選んでもらう人を、心積もりの人をこのメンバーに選んでほしいよという認識でよろしいですね。

委員 はい。

委員 3は、今の中2の親は関係なくなっている。

委員 そうですね。

委員 今の中2の親は、次は関係ない。

委員 7年度には、中2の親は7年度のPTAにはなるけど、その親はこの暫定チームは関係ない。

委員 関係ある。

委員 関係あるの。

委員 1番目の、令和7年度のPTA役員から1人ずつ、こっちのほうに入ってくるよ。

委員 でも、その人が8年度にはかかわってこない。

委員 そうです。それは関係ない。

委員 関係ないのに、この暫定に、このチームに入っちゃうと、そのまま役員に引き継いちゃうことになる可能性があるから。

委員 違う違う。その令和8年度になる候補者は、この2つ目の暫定候補の中からなんで。

委員 今の中2の親は関係ない。

委員 そうそう。

委員 来年の中2の親は関係あるけど、今の中2の親はこのチームには入らない。

委員 入ります。

委員 入るの。

委員 どういうこと？ここに入るってことは、この暫定チームの人がPTAになるんじゃないの。

委員 この暫定チームっていうのは、2つで構成されているんですよ。

委員 暫定チーム全員がPTAになるわけじゃないのね。

委員 ないない。

委員 そういうことか、なるほどね。やっと分かった。すごい混乱しました、そこが。執行委員が、大体、会長、副会長とか、書記、会計っていうのが出たんで、各1人ずついれば、役割が1人ひとつ。そこから下の枝分かれるのが、委員会だったりとか、地区委員みたいな地域の代表が。

委員 そこは8年度のときに決めればいいんですね。

委員 そこを決めていくところなので、とにかく執行委員を固めないと。

委員 それで、5役をもう来年の時点で決めちゃうってことやね。

委員 じゃあ、こども園さん、ええですか。8年度の暫定候補の人は、あくまでも心積もりというか腹積もりをしてもらって、そういう人にきてもらうという感じで、はい。

委員 もう、お願いっていうのを最初から。

部会長 この話は、あくまでも中学校の今の保護者の方々と、まずメインに考えてもらうということも、先ほど皆さんご了解いただいたので、そのように進めていきますよ。あとこの話を、これ一応PTAなので、各中学校の教頭先生とも情報共有しながら、僕らはやっていたので、これまず各中学校にこういうふうでいくことをこの部会でまとめましたっていう話をしていくと、それぞれまた各学校で、これを決めていかなあかんとなるんですが、多分、学校のそれぞれ教頭なり、先生方と一緒に話していくので、そこもその事前にこの情報だけは伝えておきますので、スムーズにいくようにはしたいと思います。

委員 じゃあ、今、事務局のほうから3点あったことの確認を。

委員 それは、今のやりたいっていう人を公募する、立候補を募るのも、中学校の今の中1と小6の親にやりたい人いますかみたいな感じでアンケートを取るのは大丈夫？例えば、アンケートあるじゃないですか、最初に候補者を決めるときに、やりたい人いますか、という紙がどんどん配られるんですけど。

委員 立候補のってことですか。

委員 そう、立候補。

委員 それは各地区に。

委員 各地区にお任せでいいんじゃないかな。

委員 それはここで言わなくていい。

委員 はい、その辺は各PTAに任せるということですね。分かりました。

委員 その話の議論の中心が、中学校のPTAでやりますよという、こういう事です。

委員 いいですか、すいません。これは、中学校の各学校に下ろすって、今、言いましたけど、本来であれば、理事会とか総会とかにかけて、こういうふうにやっていきましょうっていうふうにやってから、多分、本来的にはやっていくんだと思うんですけど、先ほどちょっとこちらでお話させてもらったときに、何も決まってないところを、理事会にかけてもあれなので、このままこの話は進んでいくっておっしゃられましたけど、それでよろしいんですか。

部会長 さっき、その話も出たんです。今までというか、ここで決めていくのは、ここでまとめたものを幹事会で調整して、理事会で諮って、最終的には総会で承認もらうという流れがあります。ここで決めたことは、まだ何もPTAの組織をどうしようかを決めてないんですね。これ、決めるための人を、私らじゃなくて、実際に携わる各中学校のPTAの人たちで決めてもらおうという道筋を作っただけなので、これが良しか悪いかを決定してもらうなんてやっていると、延々に決まらないので、今回、この部会で決まったということになれば、それを各中学校にも下ろして、そこで初めてPTAの組織をどうするかという議論が始まるということなんで、今日の件を理事会にかける、総会にかけるんじゃないくて、それはまだ決まってないので、かけることじゃなくって、それぞれの中学校に下ろして、話を進めていかないと、役員の交代の時期が大体12月末までには、大体皆さんどの地区も決められるので、そこに間に合えるようにしたいなということで進めたいと思いますけども。でないと、これ進まなくなっ

ちゃうので。ですので、理事会にかけるというのは、これで最終的に決まりますけどいいですかのときなので、次の役員このメンバー決まって議論が深まったときに、決まったらかけるという流れだと思いますので、そこはご承知をいただければ、心おきなく中学校のほうで協議ができると思いますので、よろしいですかね。

委 員 はい。

委 員 これを、12月くらいまでに下ろして、次の役員を決めるのが3月くらいまでに決まっちゃう、それとも来年度始まってから決まるのか。結局、中学校主体でやるとすると、今年度中に決めるなら、もう中1しか関わってこないから、ほぼ、前任さんは中1の親にお願いしますみたいな感じになっちゃう感じで進めていく。

委 員 個々に任せるという、やり方は。

委 員 あ、そういうことか。

委 員 確認なんですけど、この案Aのチーム名のところなんですけど、新中学校検討チームってありますね、上の。その下の選定チームってあります。この下の検討チーム。

事務局 申し訳ございません。

部会長 まとめ1の2行目のところだけの検討を選定に直す、そこだけでいいですか。それから、2番の鍵括弧の中ですね。2か所、これ検討を選定に訂正ください。今、議論をいただきましたがよろしかったでしょうか。協議事項については。よろしいですか。お願いします。

事務局 これ、ちょっと今A案B案って書いてありますので、A案だけのものにして、さっき言った選定チームでちょっと書き直したものが、今回この部会でまとめたものとさせていただいて、ちょっと作り直します。それをもって、中学校に投げていくんですけども、この話を、今日ちょっと1人ご欠席されておられるんですけども、お伝えするということも含めて、今日ここに出席されている方で、今年のPTAの人たちが、どちらにしても来年度PTAの役員を決めていくことになりますので、一度これをどこかのタイミングで話し合う機会を設けて、早速、来年度の決める時までにはうまく回っていくようにちょっと持ち帰っていただきたいなと思います。もちろん、学校にも教頭先生のほうにも、学校側にも伝えますので、ちょっとこういうことをやっていくよということで、その方がいいですよ。

委 員 これって、7年度の役員と8年度の役員と、7年度は多分すぐ決まる、すぐ決まるってわけじゃないですけど、各学校やり方があるので、決まっていくと思うんですけど、それと同時進行時期にもう決めちゃわなきゃいけない。その期限が。

委 員 決めていかないと間に合わないですね。多少ずれるかも分からないけど、令和8年度が。

委 員 それをいつっていう期限がないと。

委 員 先ほどのうちのグループは、チームの発足は令和7年4月が望ましいんじゃない

委員長 いかっというんで提案させてもらったんですけども、
 委員長 だから4月から動き出せることを目標に。
 事務局 8年度の人もそこに入って。
 事務局 そういことですよ。7年度のPTA役員は、多分、さっき言ったように12月のぐらいまでに、大体、年末までに決めて、最終的には年度明けのPTA総会で決定するんですけども。
 委員長 一緒に。
 事務局 一緒に考えてってもらう。ただ、この選定メンバーは、12月までとは言わずに、最低でも3月末に決めていくことに、じゃないと7年度当初では、動こうと思って、総会終わってからですかね、動こうと思うと。そこから決めていると決まらない。
 委員長 それまでには動かないということですか。
 委員長 動けない。
 委員長 総会で承認がないまでは、動かないってことですか。4月でPTA総会で、新しい会長さん方、役員が総会で決まるのか。
 事務局 それよりも前に動ければいいんですけども、でも、動けない。
 委員長 それもまた候補になっちゃいます。
 事務局 令和8年度を決めるときのことは、令和7年度に決めてから、今から、この冬から決めれるかってなると、どうです。そういうメンバーが、実際、そんなに決まって動けてないんじゃないかな。
 委員長 結局、上矢作みたいに、もう決まっちゃっているの。
 委員長 でも、そういうことですよ。そういうふうに、決めれなくはないと思うんですよ。
 委員長 決まっとるけど、承認はまだ得てないということですね。
 委員長 ほぼほぼ。
 委員長 本当、暫定ですよ。
 委員長 そうそう。
 委員長 PTA総会で承認もらって、ようやく決定ですもんね。
 委員長 だけど、そういうふうに決めないと進んでいけないと思うんですね。
 委員長 4月からは厳しいかもね。
 事務局 じゃあ、その辺決めて専念してもらうチームなので、この部会とは違うんで、どんなもんですかね。ただ、6年度の今から会うっていうのは。実際、動けますか。そういう候補者が、ちょっと出ないんじゃないかなと思って、どうですかね。やっぱり7年度入ってからじゃないと動けないでしょう。
 委員長 形としても、そういうふうにしないと、なんかちょっと。
 委員長 ただ4月までには、3月の年度末までに、人員を用意して。
 委員長 さっきまで、そういうチーム名では、PTAとは別組織という扱いなるんで、別に承認を得なくても、私は別に構わないと思うし、現実的にPTA総会で非承認になることはあり得ないと。
 事務局 ないですね。確かに。

委 員 あり得ないんで、もうそれを見越して、4月から動いていったほうが面倒な手続を取っ払って、実質的な動きに行ったほうがいいかなと。せつかく少ない人数で固めてやったので、できるだけ早くやって、どんどんと早め早めに決めていった方が、見通しを持てると思います。

委 員 例えば、4月からすぐ動けるように。

委 員 でも問題はないと思うんですけど。

委 員 普通、総会の5月、1か月ちょっと間開いちゃうんですけどね。それでも、動けるっていうことであれば、確かに。ほぼ、総会で承認得られるだろうから。

委 員 その前に、結局、入学式でP T A会長候補、挨拶するじゃないですか。

委 員 総会の前に。

委 員 どこもそうよ。

委 員 だから、それを考えれば、もう。

事務局 たしかにそうですね。自分たちもそうでした。

委 員 承認を得ていないのに、挨拶はしていますから。

事務局 固いことを言うなら、今ここは令和7年度各中学校のP T A役員から1名ずつって書いてありますけど、役員候補からって書いておけば、何もないかなという気がします。

委 員 4月からで全然いいんですけど、それまでは、ここでは議題にならないということですよ。

委 員 そうですね。

委 員 そうですよ。いつ、僕たちが人を選んだことを伝えればいいんですかということをお願いんですけど、いつからやるかとか、やらないかとか、期限がなかったら。

事務局 逆に各中学校は、大体来年度の体制を決めるのが、いつ頃までに、今12月までぐらいには決まるんですか。

委 員 いや、年は明けます。

事務局 年は明けちゃう。

委 員 報告する2月の上旬くらいがめどなんで、1月いっぱいには多分決まっています。

事務局 じゃ、1月末ぐらいに、どこの学校も、大体決まる。

委 員 決まる。

事務局 ですよ。それに合わせて、この。

委 員 そうそう。

委 員 メンバーの、教育委員会さんのほうに、書類というかあれを出せるんですか。

事務局 そうしましょう。メンバーが、どういう方々で決まってきて、じゃあ動くよってということが分からないので。

委 員 じゃないと、こっちにもこういうメンバーがありますかっていうのは。

事務局 そうですね。やっぱり、皆さんにもお伝えして、各地区だけじゃないので、それぞれの皆さんが承知してもらいたいということです。じゃあ、その時期を1月末までに決めていただいて、報告は、またこの統合部会やっていますので、

その折でも結構ですし、誰か正式に会長からしかお伝えするのはって言われれば別ですけども、いずれにしてもその時期になれば、教えていただいてもいい、この場でもって教えていただいても結構ですし、また私らも各PTAのほうにも学校通じて確認したりしますので、とにかく報告は受けるようにできると思いますので、1月末までに。

委 員 それで、私たちは話さなきゃいけない。PTAで選んでくださいっていうことを。

事務局 この話を、今日はここに出ていただいた方もPTAの代表として来ていただいておりますので、この話をそれぞれの学校のPTAの方々に、役員でこういう話を今度は決めなあかんですよという話を伝えてきてもらいたいです。もちろん、学校からも、同じことは情報を伝えますけれども、ここに今出てきていただける方は、各PTAの代表として来ていただいているので、そのフィードバックをしていただきたいので、PTAの今の現役員さんにお伝えしていただきたいなと思っています。もちろん、学校からお伝えしますので、どっかから話していきますけど、でも保護者経由でもお話をいかないことにはいけないかなと思いますので、そこはよろしくお願ひしたいなと思います。

委 員 質問していいですか。この選定チームのメンバーは、環境部会で、PTAの会じゃないですね。

部会長 もう1回、すみません。

委 員 この部会で話したPTAの活動とかに関しては、この検討チームにより決めていくので、この部会の話は僕らから、その検討チームに話をするのか。

事務局 今回、ここで決めればっていう形じゃなくて、やっぱりそうじゃない。中身を最終的に決めていくのは、このメンバーですので、部会からはちょっと離れます。

委 員 離れますよね。

事務局 そうですね。

委 員 そうすると、来年の話なんですけど、来年この部会ではこういうPTAの活動とか、そういったことに関しては、部会では話さないですか。

部会長 部会のほうにも、どこかで報告はもらうようにはしなきゃいけないのかもしれませんが。そこは各学校を通じてやろうかなと思っています。今回、これだけじゃなくて、他のところでも、結局、部会で議論はできないなというのが、今回のように道筋をしたところは、例えば学校さんでとか、これはもう事務局でもうおまかせするしかないなど、それぞれで検討して、また部会で定期的に報告をしていく、そういう流れでやっていく、今回はそれに当たるのかなと思って。また違う人たちが、この部会の長いメンバーで話し合うことになるので、報告を受けながら、また皆さんにフィードバックしていくということでは、情報はお伝えできるかなと思います。

委 員 その時、もう報告されていることを、ここでは承認とかそういったことは特にはなしで、みんな報告を受けました、その話はもう幹事会って、理事会にいきますって言うようなイメージで。

部会長 情報共有して、だけになるのかな。

事務局 そうですね、ここで決めたことは、実際のP T Aさんに決めてもらうよということもここで決めたということになりますので、報告を受けるだけかなというふうに思いますけどね。

事務局 では、こんな感じで大体。

事務局 はい。

事務局 いいですね。

事務局 はい。

事務局 はい、では今ちょっとお話ししたように決めさせていただいて、中学校さんはフィードバックしていただくと。私の方はこの学校のほうに直接話して情報共有して、どっかのタイミングでP T Aの役員会やったりするときに、この話もしてもらおうということです。そこは、各学校のタイミングがありますので、それぞれでお願いしたいということになります。

委 員 すみません、そのほかのことなんですが、進捗状況教えていただきたいんですが、スクールバスのほうは。

事務局 ありがとうございます。では、ちょっと私のほうから説明させていただきます。ありがとうございます。以前、スクールバスのルートですね、それからバス停の位置なんか、大まかに決めたものをご承認いただいて、これ理事会まで諮ってご承認いただいているという状況です。この後どうするかということも、以前、説明それからご理解いただいたところですが、保護者の皆さんに情報を開示して、お子様がどこかのバス停から乗りますかということも、全てのお子様について聞き取りいたしますという話をさせていただいたところ。今、その準備をしております、それぞれのバス停の写真を撮って、どこのバス停から、私はどの位置から乗るんだってということを、具体的に示した資料が作成がほぼ終わったところ。まもなく10月になりますが、10月に入ったら早々に、この資料を保護者の皆さんにお渡しして、どこからうちの子はバス停に乗りますよということを聞き取りする、アンケート調査を実行するという段取りで進めておりますので、10月に入りましたら、保護者の皆様にはご連絡が行くかなというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局 よろしかったですね。

部会長 では、3番目の次回。

事務局 次回の環境部会について、次は、日にちは10月31日の木曜日の午後7時からということをお願いいたします。会場は、今度は串原の会場に行きたいと思えます。内容ですけれども、あと、学校運営協議会の組織運営についてという議題があります。こちらについて、お話しさせていただきたいと思えます。次回、よろしくお願いいたします。

事務局 では、今日いろいろ議論深めていただきまして、ありがとうございました。1つの方向性が出ましたので、これで繋げていければと思っております。

部会長 では、本日はありがとうございました。これで終わらせていただきます。

委 員 ありがとうございます。